

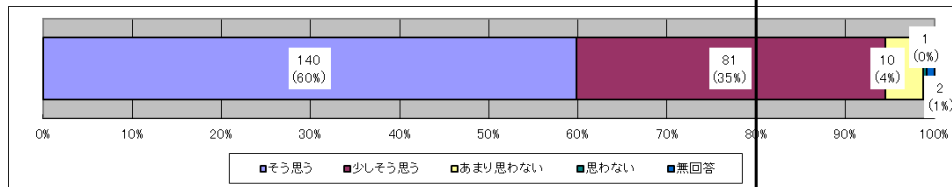
令和2年度（2020年度） 学校評価に関わる児童アンケート集計結果と分析 横須賀市立豊島小学校

<実施日> 令和2年(2020年)10月7日～10月14日
 <対象> 横須賀市立豊島小学校児童(1年～6年)
 <回収状況>

	児童数	回収数	回収率
1年	46	44	96%
2年	40	38	95%
3年	50	45	90%
4年	41	36	88%
5年	43	39	91%
6年	46	32	70%
全体	266	234	88%

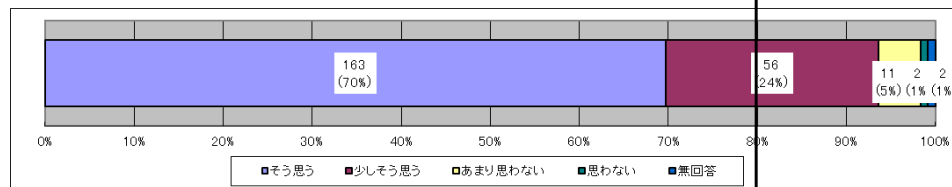
■ そう思う
 ■ 少しそう思う
 ■ あまり思わない
 ■ 思わない
 ■ 無回答

1 いつも決まり守り、安全に気をつけて行動している。 80%ライン



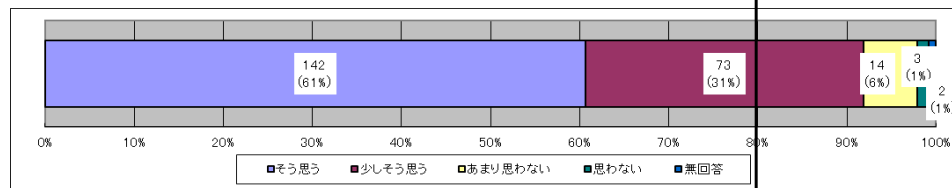
プラス評価（「そう思う」と「少しそう思う」）は95%と昨年度同様の高い評価です。「そう思う」と言える児童が少しずつでも増えていけば、よりよい集団へと成長していくと思います。学校では、きまりだから守るのではなく、その場その場でどう行動したら良いかを「自分で考える」ことが大切だと考え、日ごろから伝えています。

2 火事や地震が起きたときの避難の方法が分かる。



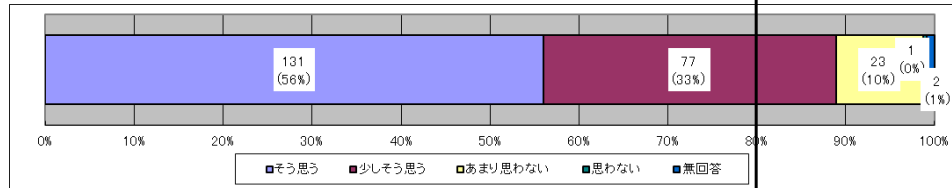
今年度は不審者対応の訓練がアンケート後だったため、それについての文言は抜いてあります。プラス評価は94ポイントと少し増え、また、70%の児童が「そう思う」と答えています。火事や地震は、いどこで起きるか分かりません。休み時間や登下校途中で起きるかもしれません。自分で考えて自分の身を守ることができるように、毎年訓練を重ねています。

3 授業のはじまり、そうじのはじまりなどに遅れないようにしている。



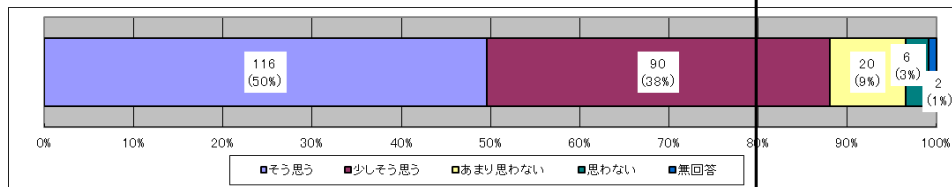
プラス評価全体は昨年度と同様ですが、「そう思う」と答えた児童は1ポイント増えました。チャイムが鳴ったらすぐに遊びをやめたり、授業前に着席したりすることは「みんなで」意識することで達成できることです。まだ伸びしろがあるところだと思います。これからも正しい選択のできる集団であるために、互いに声をかけ合うよう促していきます。

4 進んで、整理整頓をしたりそうじをしたり学校をきれいにしようとしている。



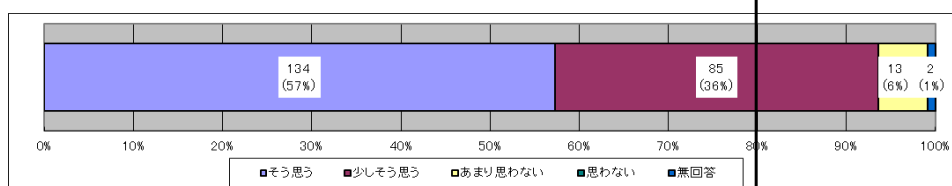
昨年度、質問の初めに「進んで」という言葉を入れたことが影響してか、プラス評価が下がった質問項目ですが、今年度は4ポイント戻りました。9割近い児童は普段から心掛けています。自分たちが使う場所をきれいにしようとする気持ちを持って、一生懸命そうじに取り組む児童もいます。できることを進んで行い、仲間と協力して活動する態度を育てていきたいです。

5 あきらめずに、最後までやりとげることができる。



「そう思う」が5ポイント減り、プラス評価は88%です。豊島小では一昨年度から「認め合える児童の育成」を目指して研究に取り組み、日常生活や授業の中で様々な実践をしています。お互いの良さを伝えあったり、自分の成長を振り返ったりすれば、自分の良さが分かります。そのことは、自分を信じ、あきらめずにがんばることにつながると考えます。

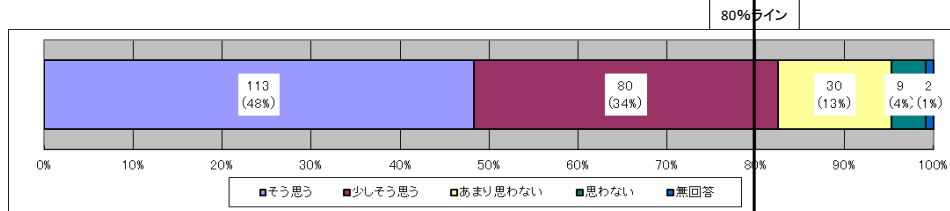
6 先生の話や友だちの意見・考えをよく聞いて理解しようとしている。



「先生の話や友だちの意見・考えをよく聞いて」という昨年度よりも高いレベルの質問にしましたが、4ポイント増えました。学力を高めるためにも、円滑な人間関係を構築するためにも、聞く力が何より大切です。相手の言いたいことを理解しようとする力をつけていきたいです。

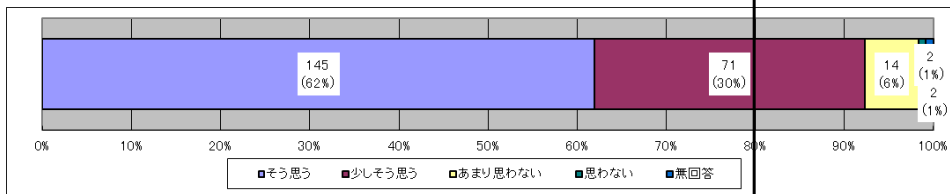


7 自分の考えを、相手にわかるように伝えたりノートなどに書いたりしている。



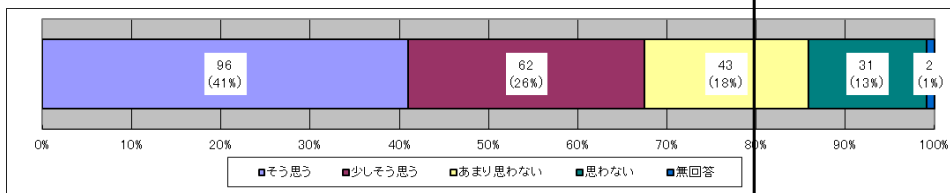
昨年よりプラス評価が3ポイント増え、目安の80%ラインを超えました。新型コロナ対応をとりながらも、少人数の仲間やクラス全体に話をして伝える活動、自分の考えやふりかえりを書く活動などに取り組んでいます。授業内容の工夫を考え、思考・判断・表現する力を高め、相手に分かりやすく伝える力を伸ばしていきたいです。

8 授業で勉強していることがわかる。



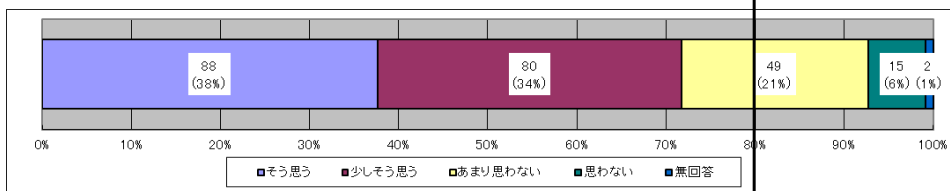
プラス評価は9.2%と高めではありませんが、昨年度よりは4ポイント減りました。学校では、授業改善や複数体制での指導等、どの児童にとっても分かりやすい授業を目指しています。さらに、個別の指導や習熟度に応じての指導の工夫など、今後検討していきたいと考えています。

9 早寝・早起きを心がけている。



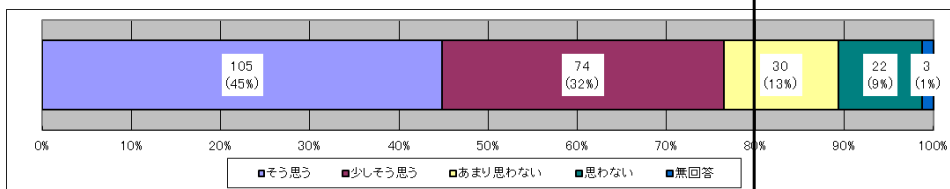
プラス評価は昨年より4ポイント増えましたが、目安の80%には達しませんでした。早く寝ることの大切さは児童のみんなも意識していると思いますが、メディアとの付き合い方の影響が大きいかと思います。学校でもメディアコントロールについて啓発していますが、ご家庭でもゲーム等の時間を決めるなど、工夫・協力をお願いします。

10 新しく学習した言葉や漢字を使ったり、似た言葉を探したりしている。



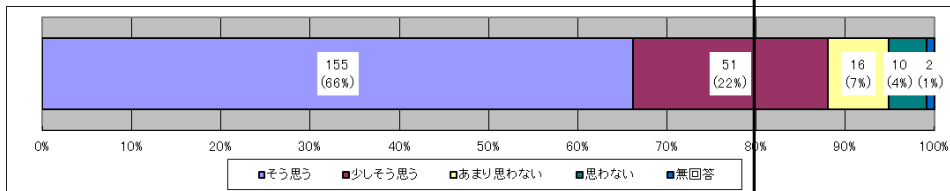
今年度新たに設けた質問です。ここでは言葉や漢字と限定していますが、学習は学んだところからさらに進めて、生活の中で気づく、見つける、探す、さらに使ってみることで自分のものとなると思います。授業や自主学習でこれらを取り上げることでNo.11の質問とともに、これからの伸びを期待したいです。

11 家に帰って、自分から勉強に取り組むことができる。



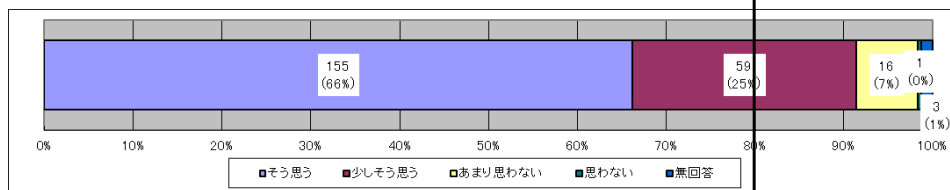
プラス評価はほぼ昨年度と同様で、目安となる80%までと少しです。学校から出された宿題だけでなく、3年生からは子どもが自ら課題を設定する自主学習もあります。課題を設定するのが難しい場合は、お父さんの相談にのってあげてください。高学年に向けて、課題設定の力を身に付け、しっかり取り組んでほしいと考えています。

12 じぶんからあいさつをしている。



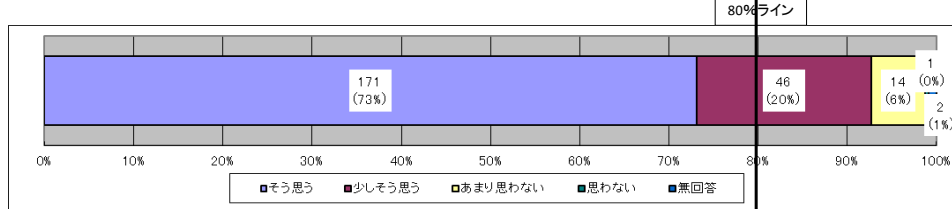
プラス評価全体は昨年より3ポイント減りましたが、来校された方から、「子供たちがあいさつしてくれる」という声もいただいています。学校としては、もっと積極的にあいさつをする子が増えてほしいと考えています。家族、地域や学校でいつも顔を合わせている仲間や大人にも自分からあいさつできるよう、声かけを続けていきます。

13 相手が傷つくようなことを、いったりしないように気をつけている。



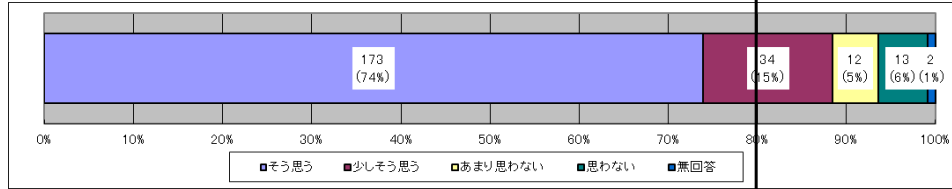
プラス評価は昨年とほぼ同様ですが、「そう思う」が7ポイント増えました。自分が使った言葉の持つ意味を考えることで、傷つける言葉や乱暴な言葉がその場にそぐわないものであると判断できるようになってほしいです。「そう思う」と言える児童がさらに増え、相手を思いやる集団へと成長していくようにと考えています。

14 学校生活の中で、友だちと協力しあっている。



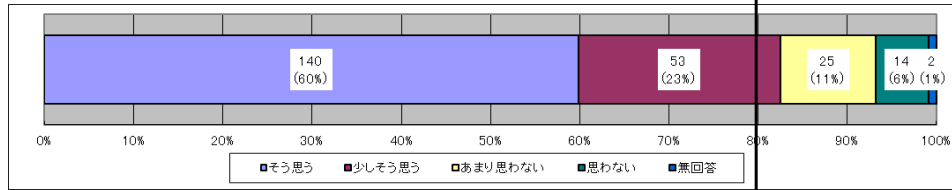
「そう思う」が昨年度よりは1ポイント減りましたが、この3年間で16ポイントも増えています。プラス評価全体も93%と高い評価です。今年度はコロナ対応でグループ活動などに制限があり、友だちとの協力という点では十分できなかったところがあります。そのような中ではありますが、時間を区切った話し合いや列を分けての発表など、現状に沿った活動を工夫しています。

15 困った時に相談できる大人や友だちが学校の中にいる。



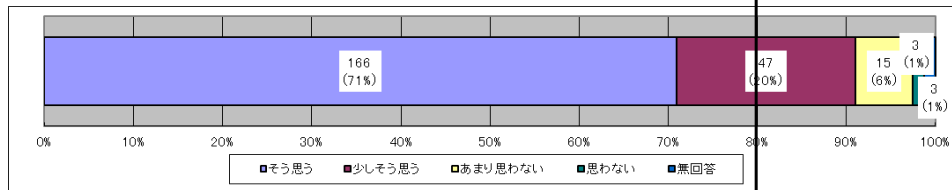
「そう思う」が4ポイント増えました。担任や授業で関わっている教員だけでなく、全職員で全児童を見守ることを意識しています。また「あいさつプラス一声かける」ことも心がけています。とは言え、児童には声をかけるタイミングが難しいこともあると考えられます。今後も、声をかけやすい環境や関係作りに努めていきます。

16 授業中だけでなく休み時間や放課後に進んで体を動かしている。



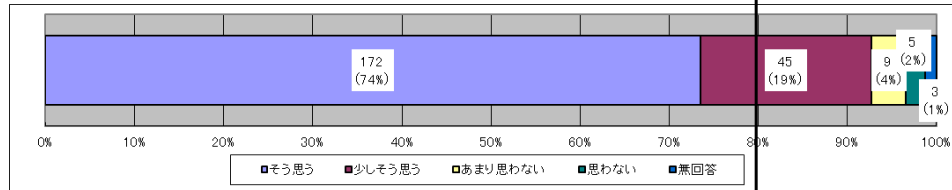
今年度新たに設けた質問です。83%がプラス評価ということで、目安のラインは超えています。進んで体を動かすことで気分を変えたり、活動の集中力を高めたりすることが期待できます。コロナ対応で制限のかかるところではありますが、多様な活動を工夫していきます。

17 先生は、学習のわからないところについてわかりやすく教えてくれる。



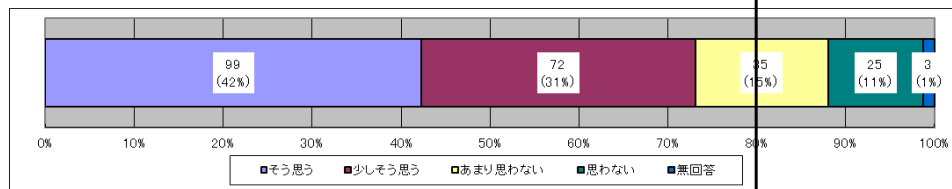
プラス評価全体は昨年度と同様の91%です。今年度は、学習のサポートをするスタッフの時間数が増え、PT（複数で1クラスの指導を行う）や少人数の指導を工夫しています。指導する側が連絡を取り合ったり、ふりかえりカード等で児童の理解度を把握したりして個々の児童に合わせた指導を行っています。

18 先生は、困ったときやいじめがおきたとき相談にのったり対応したりしてくれる。



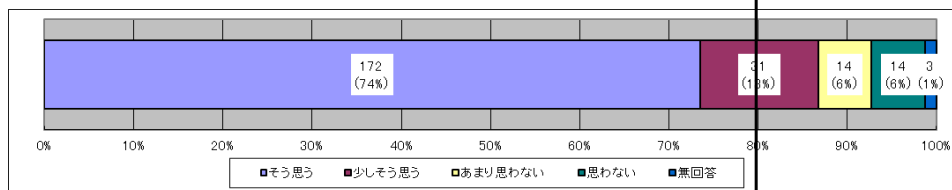
「そう思う」が昨年度より1ポイント増えて74%となりました。またここ2年間では10ポイント増えました。学校として励みになる結果です。児童間の問題が起きたときは、それぞれから話を聞くことが基本的な対応です。心が傷ついた子には、より丁寧な対応が必要になります。今後も、日ごろから信頼関係を築き、問題を解決できるよう努めていきます。

19 テレビ、ゲーム、パソコン、スマホなどについて自分で利用時間や使い方を決めて守ることができる。



今年度新たに設けた質問です。No.9の質問にも関係しますが、メディア利用の時間にはルールを設ける必要を痛感しています。少なくとも90%以上の児童がプラス評価でこたえられるよう、学校でも様々な機会を通して指導していきます。このことについては、ご家庭の協力が必須です。今一度お子さんと話をしていただけるとお願いいたします。

20 学校は楽しい。



昨年度とほぼ同様の評価ですが、「そう思う」が7ポイント増えました。年度初めの休校・隔日登校等があり、仲間と活動する学校の良さを再認識したのではないのでしょうか。学校でしか経験できないこともたくさんあると思います。学習が楽しいと思える授業を日々工夫しています。今後も楽しい学校づくりに努めていきます。